

豊島区からのお知らせ / 「洪水ハザードマップ」を発行しました！

豊島区では、東京都の作成した浸水予想区域図をもとに、大雨によって河川等が増水し、水があふれた場合の浸水予想区域と、浸水深ならびに各地域の避難所を示した「洪水ハザードマップ」を令和元年 12 月に発行しました。

大雨の際には、区から避難勧告や避難指示が出る場合もありますので、いざというときに備えて、ご自宅から避難所までの経路を確認しておきましょう。

右の QR コードからダウンロードできますのでご利用下さい。

【問合せ先】豊島区 防災危機管理課：03-4566-2574



豊島区洪水
ハザードマップ

／ 知っておきたい！ ／ ～ 防災まちづくり情報 ～

安全で住みよいまちを目指し、協議会でも取り上げた地域の方々に知っておいていただきたい防災まちづくりに関する情報ををご紹介します。

／ 雨風で聞こえないときは ／

防災行政無線放送の電話確認サービス

 **0120-021131** (無料)

大雨・台風のと看、防災行政無線の内容を電話で聞くことができます。

／ 区からの情報を発信 ／

豊島区安全・安心メール

防災や防犯などに関する様々な情報をメールでお届けします。



豊島区防災関連公式ツイッター・フェイスブック

区ホームページや防災行政無線などで提供した情報や、訓練情報などを発信しています。



ツイッター
@toshimabousai



フェイスブック
@bousaitoshima

【問合せ先】豊島区 防災危機管理課：03-4566-2574

協議会への参加者を募集しています！

長崎 1・2・3 丁目地区まちづくり協議会では、随時、会員を募集しています。長崎 1・2・3 丁目地区にお住まいの方で、防災まちづくりにご興味のある方はどなたでも参加できます。ご興味のある方は、事務局（下記問合せ先）までご連絡ください。

お気軽にお問合せください。



発行：長崎 1・2・3 丁目地区まちづくり協議会

問合せ先：豊島区都市整備部地域まちづくり課（事務局）03-3981-3449（直通）

編集協力：株式会社地域計画連合

長崎 1・2・3 丁目地区 まちづくり協議会ニュース 第5号

令和 2 年 3 月発行

発行：長崎 1・2・3 丁目地区まちづくり協議会

まちづくりの取り組みを進めています！

長崎 1・2・3 丁目地区まちづくり協議会では、昨年 7 月 31 日に提出した『まちづくり提言』内容の実現に向けて、活動しています。

昨年 11 月 1 日に開催した第 11 回協議会では、今後の進め方について意見交換を行い、提言 3「安全・安心のまち」と提言 6「協働で進める地域のまちづくりに向けて」に取り組んでいくことを決定しました。（今後の活動スケジュールについては、中面をご参照ください。）

その後、1 月 28 日に開催した第 12 回協議会では、「安全・安心のまち」に関わるまちの“防災”の現状把握をテーマに意見交換を行いました。

今後も防災まちづくりに関わる検討を進めてまいりますので、ご興味のある方はぜひ協議会にご参加ください。（協議会への参加については、4 頁をご参照ください。）



▲ 第 11 回協議会の様子



▲ 第 12 回協議会の様子

取り組みを実現するための視点

これまで協議会活動の中で、当地区が抱える課題や必要な取り組みについて検討し、『まちづくり提言』としてまとめるための活動を行ってきました。

今後は、まちづくり提言に掲げる「具体的な取り組み」の実現に向けて活動していきます。その際は、以下の視点を持って活動していきます。

まちづくりについて

『学ぶ』



- ・まちづくりのルールや整備手法等に関する勉強会や事例の紹介
- ・先進事例視察会の実施
- ・学んだ知識を元に「まちあるき」による地域の課題や魅力の調査

協議会活動を

『広める』



- ・まちづくりニュース等による広報
- ・防災マップや資器材リーフレット作成による協議会活動の周知
- ・講演会の企画実施など、協議会でのイベントの実施

提言

具体的な取り組み

取り組み実現のための 活動内容と実施スケジュール（イメージ）

安全・安心のまち（提言3）

防災施設・資源

- 公園・広場等の防災設備構築と防災資器材のリニューアルの推進
- 資器材の使い方を記載したリーフレットの整備
- 防災訓練等、地域防災のお知らせをまちづくりニュースで周知

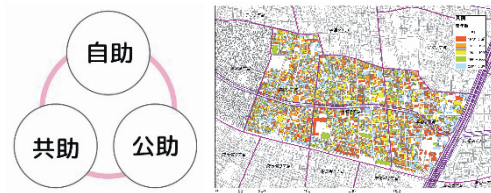


道路

- 災害時の避難、消防車や救急車の通行しやすい道路の整備
- 道路の電柱、電線類の移設・地中化の促進
- 交通量の多い交差点・踏切の安全対策の促進
- 街路灯の改善、防犯カメラの設置促進



まちの現状把握・課題共有①



- 防災マップ等から避難場所の位置や役割、避難経路等を確認。
- 災害時の「三助」や公園・広場の役割等を確認。
- 昨今の災害に関する情報や課題の共有。

先進事例視察の検討+実施



- 視察候補地の検討。
- すでに密集事業導入した地区の取り組み内容や整備された道路、公園広場等の視察。
- 視察先地元協議会との意見交換。

資器材の使い方講座



- 講師を招いた防災資器材の使い方の学習やレクチャー。
- 池袋防災館などの体験型の関連施設の見学。

リーフレットの作成



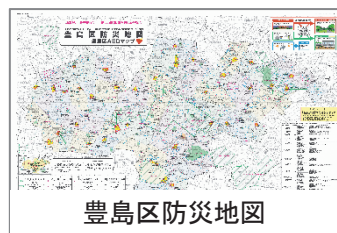
- 資器材の使い方講座を踏まえ、地域への周知を目的に使い方を記したリーフレットの作成。

令和元年度

令和2年度

令和3年度

まちの現状把握・課題共有②



- 各種地図を用いた机上での地域の現状確認。（通学路や道路幅員、交通事故発生箇所、消防活動困難区域（※）など）

『まちあるき』による現状と課題の共有



- 机上での検討や事例視察を踏まえ、「まちあるき」で現状と課題を共有。
- 「点検マップ」の作成。

点検マップの周知



- まちづくりニュースへの掲載やイベントの場での展示による周知。

点検マップを踏まえた「防災マップ」作成



- 作成した点検マップに、防災施設等の情報を加えた地区の「防災マップ」の作成。

提言6については、上記の協議会活動を通じて行っていきます。

協議会活動を通じた人材発掘

上記の活動を進めながら、取り組みに精通した人材や若い世代の協議会への参画の呼びかけ。



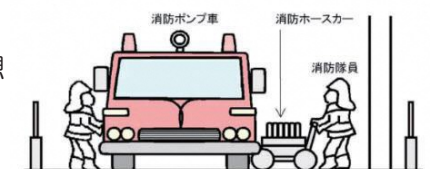
他の活動団体等との連携・情報共有

椎名町駅北口周辺地区共同化事業協議会や、隣接する長崎四丁目地区まちづくり協議会との連携、情報共有。

（※）ミニコラム
消防活動困難区域とは

一般的に、幅員6m以上の道路から140m以上の区域が消防活動困難区域と呼ばれています。

これは、幅員が6m以上の道路があると、緊急車両の通行が容易になり、消防車の両側で消防活動が可能となることと、消防車に搭載しているホース延長を200m（ホース10本分）と想定した際に、ホースの屈曲を考慮して算出したものになります。



協働で進める地域のまちづくりに向けて（提言6）

- 地域の各種団体（町会、商店会等）と行政などの協働による具体的なまちづくりの取り組みに係る検討
- まちづくりに関心を持ってもらい、取り組むための体制づくり
- イベント実施等による協議会の活性化
- 若者の参画によるまちづくりの推進体制づくり
- 隣接するまちづくり協議会等との連携